東京都北区洪水ハザードマップ
～荒川が氾濫した場合～

令和7年（2025年）9月

まごとまちごとハザードマップについて

「まごとまちごとハザードマップ」とは、ハザードマップに示された浸水深が実際にどれくらいの深さなのかを実感できるように、浸水の深さをまちなかに標識として表示したものです。速やかに避難行動がとれるよう、避難場所の情報も提供しています。

実際に設置された「まごとまちごとハザードマップ」の標識

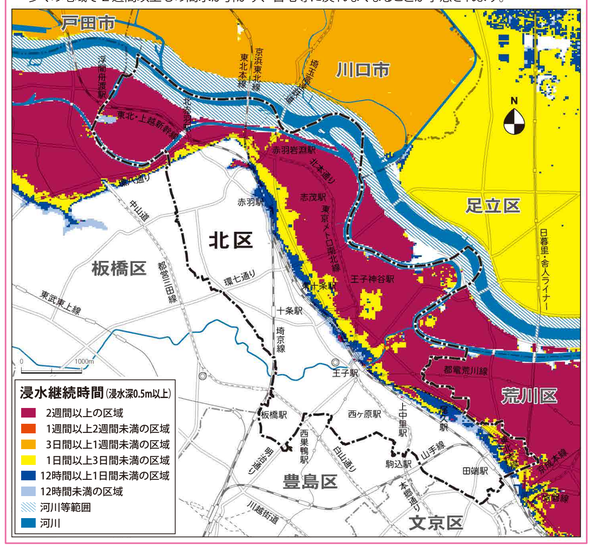
概要

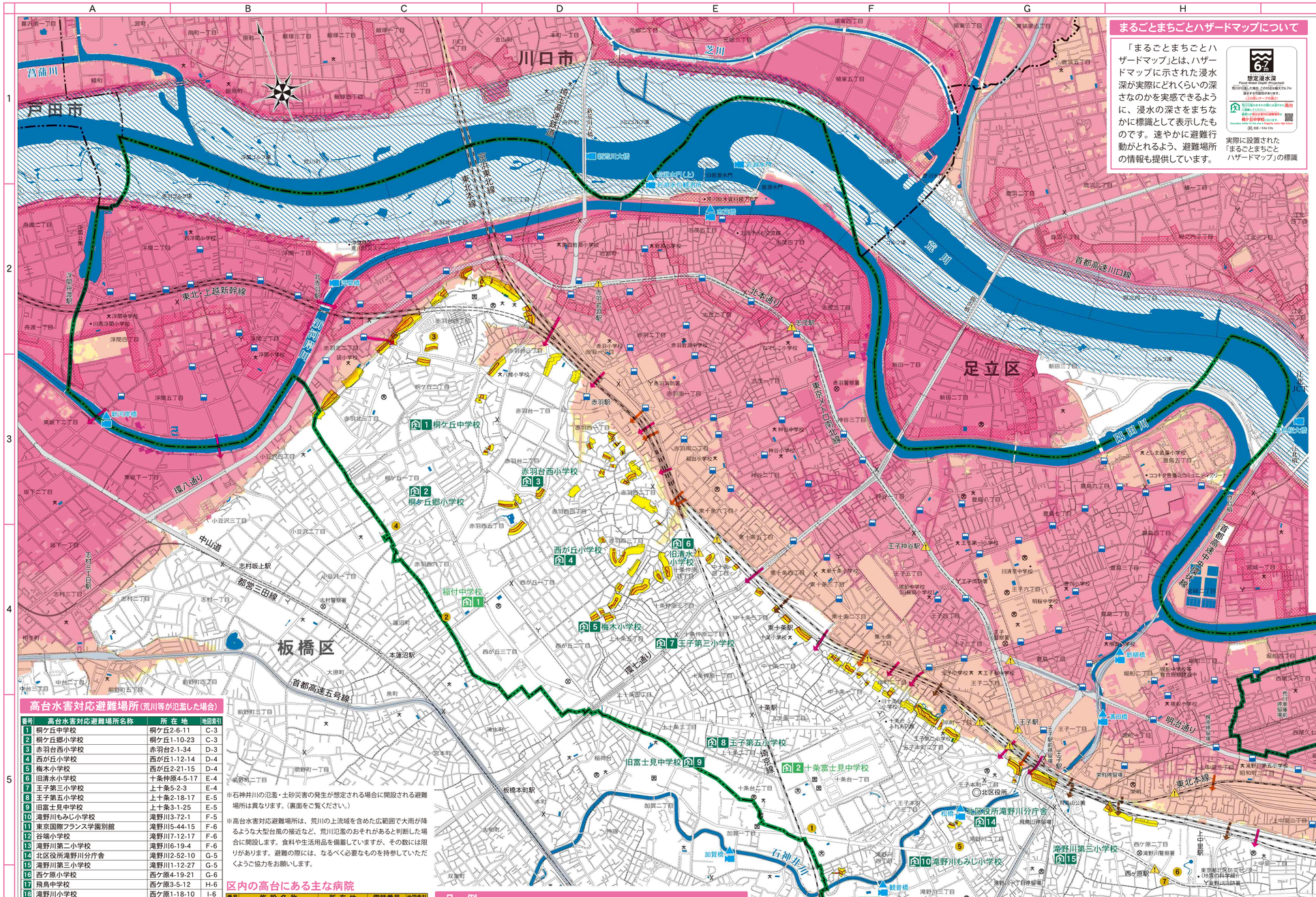
この図は、荒川が氾濫した場合に想定される浸水区域及び浸水深、避難場所等を示したものです。水防法により定められた想定最大規模降雨（荒川流域の72時間総雨量632mm）に伴う、洪水浸水想定区域図（国土交通省）を反映しています。（荒川水系入間川の洪水想定を含む）

浸水継続時間

荒川が氾濫した場合に想定される浸水継続時間（水深50cm以上の状態が続く時間）を示しています。（荒川水系入間川の洪水想定を含む）

多くの地域で２週間以上もの間水が引かず、自宅等に戻れなくなることが予想されます。





高台水害対応避難場所（荒川等が氾濫した場合）

番号	高台水害対応避難場所名称	所在地	地図索引
1	桐ケ丘中学校	桐ケ丘2-6-11	C-3
2	桐ケ丘郷小学校	桐ケ丘1-10-23	C-3
3	赤羽台西小学校	赤羽台2-1-34	D-3
4	西が丘小学校	西が丘1-12-14	D-4
5	梅木小学校	西が丘2-21-15	D-4
6	旧清水小学校	十条仲原4-5-17	E-4
7	王子第三小学校	上十条5-2-3	E-4
8	王子第五小学校	上十条2-18-17	E-5
9	旧富士見中学校	上十条3-1-25	E-5
10	滝野川もみじ小学校	滝野川3-72-1	F-5
11	東京国際フランス学園別館	滝野川5-44-15	F-6
12	谷端小学校	滝野川7-12-17	F-6
13	滝野川第二小学校	滝野川6-19-4	F-6
14	北区役所滝野川分庁舎	滝野川2-52-10	G-5
15	滝野川第三小学校	滝野川1-12-27	G-5
16	西ケ原小学校	西ケ原4-19-21	G-6
17	飛鳥中学校	西ケ原3-5-12	H-6
18	滝野川小学校	西ケ原1-18-10	I-6
19	旧田端中学校	田端6-9-1	I-6
20	田端小学校	田端5-4-1	J-6

※石神井川の氾濫・土砂災害の発生が想定される場合に開設される避難場所は異なります。（裏面をご覧ください。）

※高台水害対応避難場所は、荒川の上流域を含めた広範囲で大雨が降るような大型台風の接近など、荒川氾濫のおそれがあると判断した場合に開設します。食料や生活用品を備蓄していますが、その数には限りがあります。避難の際には、なるべく必要なものを持参していただくようご協力をお願いします。

準補完型福祉避難所（荒川等が氾濫した場合）

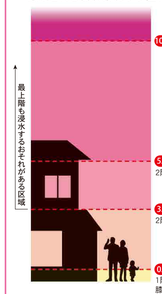
番号	準補完型福祉避難所名称	所在地	地図索引
1	稲付中学校	赤羽西6-1-4	C-4
2	十条富士見中学校	十条台1-9-33	E-5
3	滝野川紅葉中学校	滝野川5-55-8	F-6
4	田端中学校	田端4-17-1	I-6

区内の高台にある主な病院

番号	施設名称	所在地	電話番号	地図索引
1	北療育医療センター	十条台1-2-3	3908-3001	F-5
2	赤羽リハビリテーション病院	赤羽西6-37-12	5993-5777	C-4
3	東京北医療センター	赤羽台4-17-56	5963-3311	C-2
4	大橋病院	桐ケ丘1-22-1	3907-1222	C-4
5	滝野川病院	滝野川2-32-12	3910-6336	G-5
6	花と森の東京病院	西ケ原2-3-6	3910-1151	H-6
7	西ヶ原病院	西ケ原2-46-9	3917-6561	H-6
8	富士病院	西ケ原3-33-11	3910-6661	H-6
9	金地病院	中里1-5-6	3821-6433	I-6

凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）（家屋倒壊等をもたらすような氾濫流の発生が想定される区域）
- 想定される浸水深（ランク区分）と目安
- 高台水害対応避難場所
- 準補完型福祉避難所
- 区内の高台にある主な病院
- まごとまちごとハザードマップ標識
- 危険箇所や注意を要する場所
- 区境界
- 水位観測所
- 河川監視カメラ
- 避難経路（車両通行可）
- 避難経路（歩行者専用）
- 避難経路（階段のみ）
- 高速道路
- 主要道
- 河川等範囲
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域



早期の立退き避難が必要な区域及び浸水ランク別の避難行動

区域等	避難行動	注釈
家屋倒壊等氾濫想定区域	【早期の立退きが必要】木造２階建ての家屋が倒壊するような激しい氾濫流が発生する可能性があり、歩行不能となる浸水深0.5m以上の状態が２週間以上継続するため、できるだけ遠くの高台に避難する。また、安全に避難するために、天候が悪化する前の早い段階で行動を開始する。	【緊急的な避難】高台に移動する時間的な余裕がない場合や、強い風雨のため外に出るとかえって危険な場合は、自らの判断で堅牢な高い建物（コンクリート、重量鉄骨造など）の上階に避難する。その場合は必ず想定される浸水深より上階に避難する。
歩行不能となる区域（0.5m以上）	【早期の立退きが必要】歩行不能となる浸水深0.5m以上の状態が長い期間（場所によっては２週間以上）継続するため、できるだけ遠くの高台に避難する。また、安全に避難するために、天候が悪化する前の早い段階で行動を開始する。	※荒川の氾濫は大型台風の接近等早い段階で予測は可能である。
その他の浸水想定区域（0.5m未満）	床下浸水程度の浸水被害が想定されることから、安全な高台への避難を検討する。また、避難する場合には、安全に避難するために、天候が悪化する前の早い段階で行動を開始する。	
浸水想定区域外	テレビや区からの最新情報を収集する。	浸水想定区域内の住民等が避難してくることも考えられるため、避難の手助けを行う。

1 : 12,000

0 500 1000m

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 909」

調製：国土地図株式会社　東京都新宿区西落合2-12-4

発行：東京都北区